

展示室 1 労働と日々

「労働と日々」は、古代ギリシアの詩人ヘシオドスが紀元前 700 年頃に書いた叙事詩で、過酷な農耕を通じて働くことの尊さや楽しさを教えるとともに、人々に勤勉であることの重要性を説くものです。ヘシオドスの労働観は現代まで伝わりますが、労働の描写は古くからなされてきました。たとえば、農村で働く人々の姿は、初夏の干草の収穫、秋の葡萄搾りといった、月々の労働の営みとともに描かれます。一方で、理想化された風景の中で山羊が神々の恩恵を食み、羊飼いが微睡むような、牧歌的風景とも結びつきました。さらに近代の技術が進歩すると、工場作業に勤しむ労働者の姿が活写されます。

ここでは、近代イギリス美術の作品によって、労働と日々の表象をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
ジョン・フラクスマン	『神統紀、仕事と日々とヘシオドスの生きた時代』	1816 ～ 7	スティップル、ラインエングレーヴィング・紙	ローダーコレクション
ウィリアム・ブレイク	ヴァージルの『田園詩』第 1 巻	1821	木口木版、ラインエングレーヴィング・紙／本	ローダーコレクション
ディエル兄弟	パン種の寓話	1864	木口木版・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟	北国の農場	1867	木口木版・紙	ローダーコレクション
ディエル兄弟	鵞鳥	1867	木口木版・紙	ローダーコレクション
クレア・ヴェロニカ・ホープ・レイトン（画・刻）	『農民の一年』	1933	木口木版／本	ローダーコレクション
ジョン・ナッシュ	小麦の収穫	1930	インク・紙	ローダーコレクション
ジョン・ナッシュ	荷車に積まれた干草	1920	木口木版・紙	ローダーコレクション
ポール・ダリー・ドゥル＝リー	九月	1928	エッチング・紙	ローダーコレクション
ポール・ダリー・ドゥル＝リー	夕暮れ	1925	エッチング・紙	ローダーコレクション
グレアム・サザーランド	ミカエル祭	1928	エッチング・紙	ローダーコレクション
グレアム・サザーランド	薪	1925	エッチング・紙	ローダーコレクション
ロビン・タナー	マーティンのあばら家	1927	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	眠る羊飼い：早朝	1857	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	クリスマス（最後の羊を囲う）	1850	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	昇る月（イングランドの田園詩）	1857	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	疲れ果てた農夫（牧夫またはタードウス・ブルクス）	1858	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	早朝に働く農夫（山々に広がる朝）	1861 以前に着手	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	生命の朝	1860 ～ 1 着手	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	夜回りの人	1879	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	孤高の塔	1879	エッチング・紙	ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	囲いを開く（早朝）	1880	エッチング・紙	ローダーコレクション
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス	
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ		油彩・キャンバス	
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス	
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868 ～ 84	油彩・キャンバス	
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス	
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815 頃	油彩・キャンバス	
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745 ～ 46 頃	油彩・キャンバス	
ジョセフ・スタナード	魚網を繕う漁師	1825 頃	エッチング、ドライポイント	ローダーコレクション
ジョセフ・スタナード	マンズリーの浜辺	1827	エッチング・紙	ローダーコレクション
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	メッドウェイ川沿いのロチェスター	1826	メゾチント・紙	ローダーコレクション
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティンタージェル城、コーンウォール	1818	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙	ローダーコレクション
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カークストールの水門	1827	メゾチント	
ロバート・ギビングス	ペンキ屋	1921	木口木版・紙	
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	『航空機製作の六場面』より アセチレン溶接工	1917	リトグラフ・紙	
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	『航空機製作の六場面』より エンジン製作	1917	リトグラフ・紙	

展示室2 印象派で交わる美術

現在も多くの美術ファンを魅了する印象派は、1874年にフランス・パリで誕生しますが、その成立と発展の背景にはイギリス美術の存在がありました。今年没後100年を迎える印象派の巨匠クロード・モネは、ロンドン滞在時にイギリス風景画家の二大巨頭、ターナーとコンスタブルの作品を熱心に研究しています。

日本では明治前期に断片的に受容され、さらにポスト印象派以降のより前衛的な美術潮流がほぼ同時期に流入したことも相まって、画家たちの印象派への態度は実に様々でした。今回はターナー、コンスタブル、そしてモネやルノワールと直接の交流があった画家や、印象派に傾倒した画家の作品を展示し、印象派への影響、印象派からの影響をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	早朝	1878	リトチント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	渡し場 No.2	1880	エッチング・ドライポイント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	吊り上げ橋、アムステルダム	1889	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	聖ピアッジョ	1880	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ラルエット坊や	1859	エッチング・紙
黒田 清輝	東久世伯爵像エスキース	1894(明治27)	油彩・キャンバス
和田 英作	上総風景	1897(明治30)	油彩・キャンバス
白瀧 幾之助	農婦と牛のいる風景		油彩・キャンバス
太田 喜二郎	サン・ピエール寺院	1910-11(明治43-44)	油彩・キャンバス
中澤 弘光	風景(海)	1921(大正10)	油彩・キャンバス
中澤 弘光	灯(加茂川夕涼)	1914(大正3)	油彩・キャンバス
有島 生馬	少女	1908(明治41)	油彩・キャンバス
南 薫造	京城、景福宮建春門	1925(大正14)	油彩・板
南 薫造	雪の日の東京	1933(昭和8)	油彩・スケッチボード
南 薫造	雪のニコライ堂		油彩・スケッチボード
栗原 忠二	ハーマスミス・ブリッジ		油彩・板
栗原 忠二	ヴェニス風景	1921(大正10)	油彩・板
高木 背水	紅海の夕焼		油彩・キャンバス
斎藤 豊作	風景	1912(明治45)	油彩・キャンバス
梅原 龍三郎	静物		油彩・キャンバス
安井 曾太郎	初秋の北京	1944(昭和19)	油彩・キャンバス
正宗 得三郎	東京の郊外		油彩・キャンバス
山下 新太郎	苔寺	1922(大正11)頃	油彩・キャンバス
山本 森之助	冬の磐梯山	1918(大正7)頃	油彩・キャンバス

展示室3 特集 勝呂 忠

終戦後の日本の美術家たちは、長く続いた創作活動の空白を埋めるため、それぞれに新たな表現や発表の場を模索します。勝呂忠は、そうした時期に村井正誠や山口薫先輩に導かれながら画家としてのスタートを切りました。初期には、力強い黒線を用いた幾何学的な人物像によって社会の不安や人間の内面を描写しましたが、1962年の渡欧後に抽象的な表現へと転じてゆきます。《浮遊する3本の線》にみられるイエロー・オーカーの画面は、1980年代以降の勝呂芸術を特徴づける重要な要素となりました。

また、勝呂は早川書房「ポケット・ミステリー」シリーズの表紙原画を数多く手がけたことでも知られています。この部屋では、生誕100年を迎えた勝呂の多彩な創作活動を紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
勝呂 忠	『ハヤカワポケットミステリーブック』表紙原画	1971(昭和46)	油彩・キャンバスボード
勝呂 忠	休む人	1955(昭和30)	油彩・キャンバス
勝呂 忠	ちから (D)	1957(昭和32)	油彩・キャンバス
勝呂 忠	渾沌	1954(昭和29)	油彩・キャンバス

作者名	作品名	制作年	技法・材質
勝呂 忠	母と子	1955(昭和 30)	油彩・キャンバス 勝呂忠氏寄贈
勝呂 忠	作品 (イーD)	1962(昭和 37)	油彩、樹脂・キャンバス 勝呂忠氏寄贈
勝呂 忠	作品 (イーB)	1962(昭和 37)	油彩、樹脂・キャンバス 勝呂忠氏寄贈
勝呂 忠	ひろがり (A)	1962(昭和 37)	油彩、樹脂・キャンバス
勝呂 忠	浮遊する 3 本の線	1989(平成元)	油彩・キャンバス
曽宮 一念	静物	1918(大正 7)	油彩・キャンバス 武田光司コレクション寄贈
山口 薫	静物	1926(大正 15) 頃	油彩・キャンバス
山口 長男	コラージュⅠ	1950-51(昭和 25-6)	コラージュ・紙
山口 長男	コラージュⅡ	1950-51(昭和 25-6)	コラージュ・紙
村井 正誠	いそぐ人	1956(昭和 31)	油彩・キャンバス
難波田 龍起	建物の構成	1954(昭和 29)	油彩・キャンバス
植木 茂	体		木彫
勝呂 忠	『赤旗』挿絵より 6 点	1994(平成 6)	墨、鉛筆、コンテなど・紙 勝呂忠氏寄贈

展示室 4－① 自然をとらえる

自然は古くから芸術家たちに豊かな着想を与えてきました。季節が移ろう様など、自然と向き合うなかで生まれた感動や記憶もまた、作品の重要な主題となっています。

身近な風景に心を寄せた作家、移り変わる光や大気の表情を追求めた作家、自然の雄大さや力強さに魅せられた作家 自然との向き合い方は異なりますが、その根底には自然への深い関心と敬意が息づいています。

緻密な線や繊細な階調による描写から、大胆な色面による表現まで、版画ならではの多彩な技法は、作家たちがとらえた自然の表情を生き生きと伝えています。彼らのまなざしをたどりながら、それぞれの作家が見出した自然の豊かさに思いを巡らせていただければ幸いです。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
山本 芳翠	磐梯山噴火真図	1888(明治 21)	木口木版・紙
福田 利秋	磐梯山	1980(昭和 55)	木版・紙 福田利秋氏寄贈
斎藤 清	青沼、裏磐梯、会津	1955(昭和 30)	木版・紙
畦地 梅太郎	上高地		木版・紙
岩谷 徹	秋の山	1984(昭和 59)	メゾチント・紙
岩谷 徹	五月の緑	1984(昭和 59)	メゾチント・紙
斎藤 寿一	魚	1958(昭和 33)	ディープエッチング、エングレーヴィング・紙 斎藤聆子氏寄贈
斎藤 寿一	波と月 (B)	1964(昭和 39)	ディープエッチング・紙 斎藤聆子氏寄贈
トマス・ビューイック	『英国鳥類誌 第一巻 陸鳥編』	1797	木口木版・紙／本 ローダーコレクション
ディエル兄弟	『イギリス風景画集』	1863	木口木版・紙／本 ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』より 春	1830-32	メゾチント・紙 ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』より 夏の朝	1830-32	メゾチント・紙 ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』より 真昼	1830-32	メゾチント・紙 ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』より 夏の夕	1830-32	メゾチント・紙 ローダーコレクション
ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』より 秋の夕暮れ	1830-32	メゾチント・紙 ローダーコレクション
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	海と空の習作	1825 頃	メゾチント・紙 ローダーコレクション
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ベン・アーサー	1819	エッチング、メゾチント・紙 ローダーコレクション
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	泥炭沼、スコットランド		エッチング、メゾチント・紙 ローダーコレクション
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティーズ川の流れ、ヨークシャー		ラインエングレーヴィング・紙 ローダーコレクション
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	スイスの谷 (『キャンベルの詩集』)	1837	ラインエングレーヴィング・紙 ローダーコレクション
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	夏の夕べー虹 (『キャンベルの詩集』)	1837	ラインエングレーヴィング・紙 ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	牧夫の小屋 (日没)	1850	エッチング・紙 ローダーコレクション
サミュエル・パーマー	ひばり	1850	エッチング・紙 ローダーコレクション
ジョン・クローム	ソマリートン付近のウィッカースウェル湖	1812 頃	エッチング・紙 ローダーコレクション
ジョン・クローム	枯れた樫の木沿いの道	1813 頃	エッチング・紙 ローダーコレクション

展示室 4－② 素材が語る工芸

工芸は、素材の性質を見きわめ、その力を引き出すことから生まれる表現です。土、金属、ガラスなどの素材には、それぞれ硬さ、重さ、光沢、透明感、手ざわりがあり、つくり手はその特性を深く理解しながら、素材と向き合ってきました。

そうして生み出された作品は、日常のなかで用いられるものでありながら、確かな美しさを湛えています。そこには、つくり手の技術と感性だけでなく、素材そのものが重ねてきた時間や、それを育んだ土地の風土も息づいています。

このコーナーでは、素材・技術・デザインが響き合う工芸の魅力をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
各務 鑛三	クリスタル花瓶《鱗影》	1970(昭和 45) 頃	ガラス／宙吹・気泡封入、グラヴェール	田淵十一氏寄贈
吉田 丈夫	クリスタル瓶《瓢》		ガラス／宙吹	田淵十一氏寄贈
佐藤 潤四郎	灰皿		ガラス／型押し	
佐藤 潤四郎	花器（カレット入り）		ガラス／宙吹・カレット封入	
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器（顔）	1986(昭和 61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込	
佐藤 潤四郎	ステンドグラス・窯		ガラス、鉄	佐藤久枝氏寄贈
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ（ぶどう酒用容器）		ガラス、金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ、黒檀把手（ぶどう酒用容器）		ガラス、金属、電気メッキ、黒檀把手	
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック	1881	金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	把手付き燭台		真鍮、木製把手	
クリストファー・ドレッサー	青緑釉水差	1879-82 頃	陶器	
クリストファー・ドレッサー	金銀彩植物模様タイル		磁器	
クリストファー・ドレッサー	ゴシック模様タイル（10 枚）		磁器	
仁阿弥 道八	刷毛目鉢	19 世紀（江戸時代）	陶器	渡辺宗侑氏寄贈
浜田 庄司	黒釉鑄流描角皿		陶器	麻山富義氏寄贈
浜田 庄司	白釉鉄絵茶碗		ストーンウェア	
バーナード・リーチ	白磁魚絵皿	1961	磁器	
三輪 休雪（11 代）	白萩茶碗		陶器	渡辺宗侑氏寄贈
加藤 土師 萌	絵唐津茶碗		陶器	渡辺宗侑氏寄贈
	黒釉一重口水指	18-19 世紀	陶器	渡辺宗侑氏寄贈
田村 耕一	野草図楕円鉢	1963(昭和 38) 頃	陶器	麻山富義氏寄贈
折笠 兆春	朱い盛器	1985(昭和 60)	乾漆	折笠兆春氏寄贈
遠藤 兆映	香器・樹海	1988(昭和 63)	銀	遠藤兆映氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

	作者名	作品名	制作年	技法・材質	
● 1 階	アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
	アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
	笠置 季男	躍進	1958（昭和 33）	セメント	
● 2 階展示ロビー	舟越 保武	少女	1956(昭和 31)	砂岩	
	佐藤 静司	子供頭部	1955(昭和 30)	木彫	佐藤静司氏寄贈
	木内 克	女の顔	1965(昭和 40)	石膏、顔料	和田敏文氏寄贈
	山本 正道	帽子を被る男の肖像	1970-4(昭和 45-9)	ブロンズ	
	佐藤 静司	遙か	1989(平成元)	ブロンズ	宇野洋子氏寄贈
● 前庭	バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	